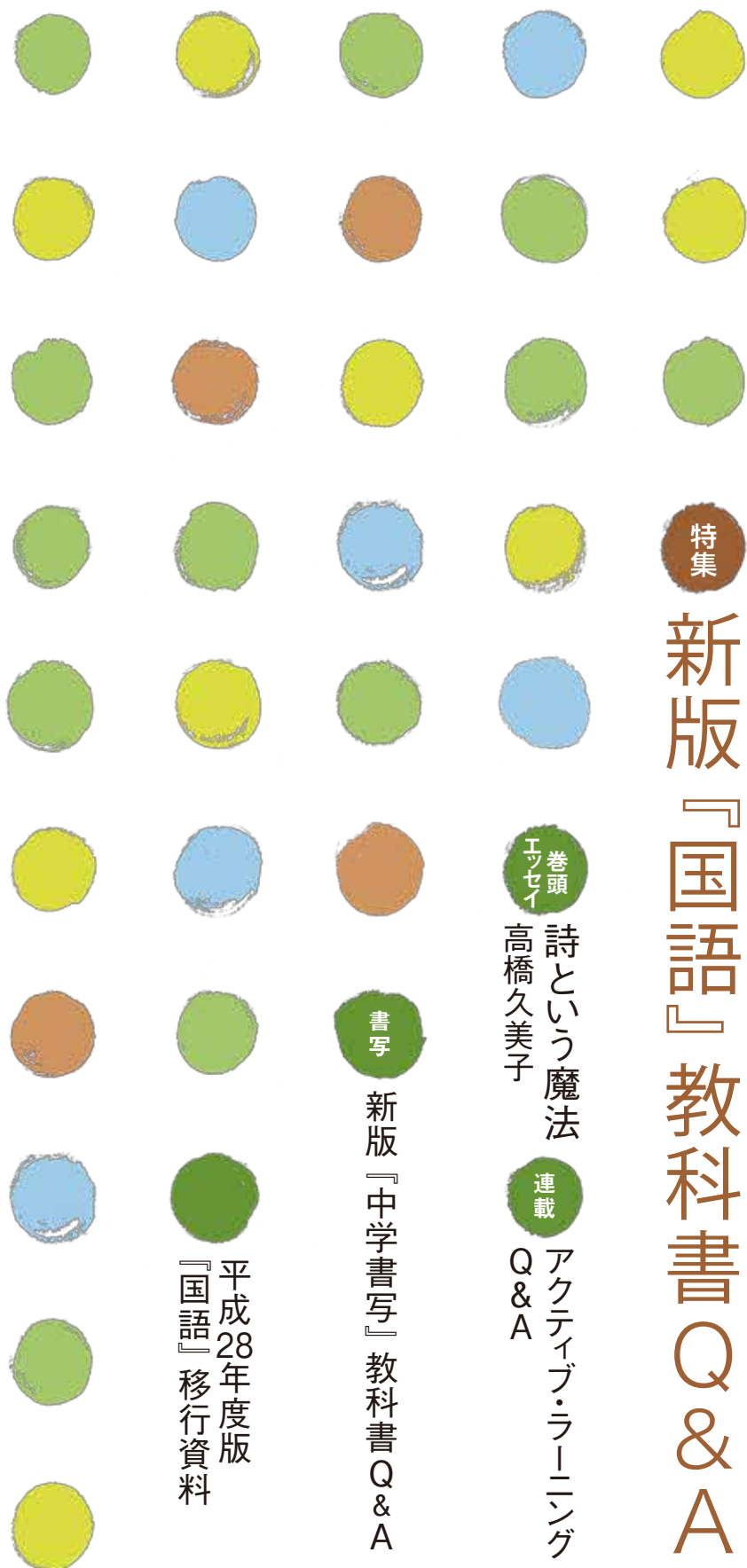




特集

新版『国語』教科書Q&A

巻頭
エッセイ
詩という魔法
高橋久美子

連載
アクティブ・ラーニング
Q&A

書写
新版『中学書写』教科書Q&A

平成28年度版
『国語』移行資料

授業にデジタル教科書を！



光村のデジタル教科書がさらにパワーアップ！
国語, 英語, 美術の授業を強力にサポートします。

光村 デジタル 教科書

学校フリーライセンスとは、校内でご利用になるパソコンの台数を制限しない契約です。

【指導者用】 光村「国語デジタル教科書」1～3年

DVD版	各 72,000円+税	ダウンロード版	各 23,000円+税
------	-------------	---------	-------------

【指導者用】 光村「英語デジタル教科書」1～3年

DVD版	各 75,000円+税	ダウンロード版	各 24,000円+税
------	-------------	---------	-------------

【指導者用】 光村「美術デジタル教材」わくわく美術室

DVD版 (1年契約版)	12,000円+税	DVD版	50,000円+税
-----------------	-----------	------	-----------

DVD版 使用期間は、平成28年度版教科書の使用期間内です。

ダウンロード版 1年単位でのご使用も可能となりました。使用期間は、上記期間内の1年間です。



光村図書は、CoNETS(コネッツ)に参画しています。

体験版はWebサイトよりダウンロードすることができます

www.mitsumura-tosho.co.jp/digital/

デジタル教材お客様窓口 03-3493-5741



光村図書

中学校 国語教育相談室 通巻No.170 2016(平成28)年4月8日発行

発行人=小泉 茂 発行所=光村図書出版株式会社 東京都品川区上大崎 2-19-9 〒141-8675 電話 03-3493-2111

www.mitsumura-tosho.co.jp E-mail:koho@mitsumura-tosho.co.jp 印刷所=株式会社 加藤文明社 デザイン=mg-okada

個人情報の取り扱いに関しては、弊社「個人情報保護方針」に則り、適切な管理・保護に努めてまいります。
詳しくは、光村図書ウェブサイトをご覧ください。 www.mitsumura-tosho.co.jp 広報誌の配送停止をご希望の方は、光村図書出版までご連絡ください。

そう怖くはありませんよ

早稲田大学教授
森山卓郎

井上ひさしの「握手」。私は、この作品で造型されている「ルロイ修道士」の人物像が好きだ。特に、最後の別れの会話はなかなかのものだ。

上野駅の中央改札口の前で、思い切ってきた。

「ルロイ先生、死ぬのは怖くありませんか。わたしは怖くてしかたがありませんが。」

かつて、わたしたちがいたずらを見つけたときにしたように、ルロイ修道士は少し赤くなって頭をかいた。

「天国へ行くのですから、そう怖くはありませんよ。」

「天国か。本当に天国がありますか。」

「あると信じるほうが楽しいでしょうが。(略)」

「死ぬのは怖くありませんか」に対する返答が、「そう怖くはありません

よ。」「怖くはない」という全否定ではない。信仰に生きているはずの修道士だが、「人」としてあくまでも正直だ。「本当に天国がありますか」への答えも「あると信じるほうが楽しいでしょうが」である。「一人の人」としての率直な視点と言えるだろう(ちなみに聞き方も、一般論的な話としての「天国は」ではなく「天国が」となっている。「死んでからその人が行く所として、天国があるかどうか」を話題にしているというニュアンスがある)。

そういえば、別のところでも、「一人一人の人間がいる、それだけのことですから。」という言葉がある。強烈に「人」の「一人一人」を取り上げるのだ。さらに、「ルロイのこの言葉を忘れないでください。」というのが、信教に関連する言葉ではなく、「困難は分割せよ」というふうの「生き方」に関わるものである(私はこの作品で

この言葉を知った。生きる力につながるいい言葉だ)。

レストランの会話では、戦中の話、オムレツの話のあと、「それよりも」で切り出されるのが、「わたしはあなたをぶったりはしませんでしたか」という内容だ。「それよりも」は、前の話題をすつとばして大切なことをきり出す転換である。「ひどい仕打ちをしていたなら、謝りたい」という強い思いがそこにはある。「人」を本当に大切にしてきた「ルロイ修道士」の造型が、言葉の端々に見事に息づいている。

CONTENTS

探検！言葉の森29 そう怖くはありませんよ 森山卓郎

巻頭エッセイ 言葉と向き合う 02 詩という魔法 高橋久美子

特集 04 新版『国語』教科書 Q&A

「価値創造」的な思考力を育むために 光村図書出版 中学校国語編集部

新版教科書で、こんな授業がしたい 甲斐利恵子 宗我部義則

新教材 著者からの言葉

アクティブ・ラーニング Q&A 3 18 「言語活動の充実」とアクティブ・ラーニングとの違い 富山哲也

書写 20 新版『中学書写』教科書 Q&A

24 平成28年度版『国語』移行資料

詩という魔法

作家・作詞家

高橋久美子

「日記と詩は何が違うのですか？」と尋ねられることがある。日記にメロディーをつけても歌になるし、日記を詩だと言いつつたとしても怒られることはない。詩と日記の具体的な線引きはないのだ。

中学三年生のとき、変わった国語の先生が転任してきた。授業の頭で毎回詩を作ろうと言いつつ出たのだ。詩人なんて谷川俊太郎くらいしか知らないぞ、一体どうやって書けばいいんだ。私を含め生徒たちはざわついた。先生はそんな空気おかまいなしで黒板に「光」と書くと、コースターほどの小さな半紙を配った。「今日のお題は『光』です。それでは三分間よい始め」。

中学生の私は、詩の面白さはテストの点と比例しないことだと知った。なぜなら授業を放棄して教室を飛び出すような金髪の男子に限って、素晴らしい詩を書いたからだ。先生が毎回発表する優秀作品の中に、ときどき彼らの詩も入っており、それがびっくりするほど良かった。教室がシーンとなった。先生が朗読し

がなくても書ける。だからこそ、詩を作ったことのない人にも、国語が嫌いな人にも、自分自身を変えるチャンスのある世界だということを忘れないでいたいと思うのだ。

そんな風に、ヤンキーに刺激を受けながら、私は詩作の時間が一番好きになっていた。休み時間や家に帰ってから詩を作った。それらは、提出される授業の詩とは一味違っていた。家族にも友達にも相談できない思春期ならではの心の闇は、日記帳ではない新しいノートに連なり始めたのだ。間違いなく私はあの一冊の作詩ノートに支えられ、中学、高校時代を乗り切った。人前では明るいくせに、もともとと蓄積される心の錆は詩に形を変えることでしか取れなかった。本音を言える誰かがいたなら、私は詩を書き続けていなかっただろう。その必要がないからだ。その方が人間としては幸せなことだと思いが、残念ながら大学生になっても私の作詩ノートはどんどん溜まっていた。

ていった。そのとき書いたものの多くが、デビュー後に音源化され今もなお愛されている。

初期でこそこのように奔放に書けたが、詩と歌詞は別ものだった。歌になり演奏というドレスを纏った言葉は、もはや私だけのものではなかった。私ではない人の口から歌われステージを見上げるたくさんのお客さんに届けられることで、みんなのものになっていった。それはとても幸せなことだったけれど、同時に責任と覚悟があることでもあった。曲を聞い

高橋久美子
たかはし くみこ

1982年、愛媛県生まれ。鳴門教育大学卒業。ロックバンド「チャットモンチー」のドラマー・作詞家として活躍後、作家に。作家・作詞家としての活動のかたわら、詩の朗読、詩と絵の展覧会、詩作・朗読のワークショップなども積極的に行う。主な作詞曲に、もいろクローバーZ「空のカーテン」、KANIKAPILA「トラブルメイカー」など。主な著書に、詩画集『太陽は宇宙を飛び出した』（FOIL）、写真詩集『家と砂漠』、エッセイ集『思いつつ、嘆きつつ、走りつつ、』（毎日新聞社）など。

人生は山あり谷あり。結局のところいくら勉強したってわからないことだらけだ。悲しいときには泣き、嬉しいときには笑い、世の中への疑問をふつと募らせ、どんな時代も心のアンテナを伸ばして生きることこそが、豊かな言葉と人生を作る秘訣なのだと思うている。

た何万人のうちの一人でも自分の歌詞によつて傷ついてはいけないという思いが、ファンが増えていく度に強くなった。また、聞いてくれた人の勇気や希望になつてほしいと願いを込めてどんなネガティブな歌詞にも希望を添えて終わらせた。気づけば、私は歌詞とは別にまた詩を書くようになっていた。

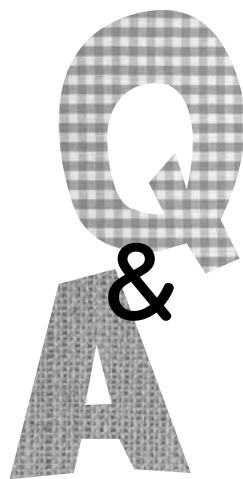
言葉は、花束にもピストルにもなる。だからこそ、私達のように言葉を生業とする人間はその面白さと危うさを伝えなければならぬ。不良男子に光をあてた国語教師のように。何となくコンビニから流れる私の歌詞が、誰かの明日を作るのかもしれないという使命はいつも私の中にある。

大学時代、軽音部の後輩に誘われてロックバンド・チャットモンチーにドラマーとして加入した。最初は私以外の二人の作詞・作曲した曲をアレンジして演奏していたが、ある日「久美子さんも詩が書けたりしますか？」とボーカルのえっちゃんに聞かれた。「うん、ちょっと書ける」と答えた。嬉しかった。私の詩にメロディーがつき演奏し歌ってくれるなんて。机の中にしまいこむだけの言葉を認めてくれる誰かがいることが嬉しくて嬉しくて、私は翌日までに約十の歌詞を作っ

特集

新版

『国語』教科書



いよいよ全国の教室で、新しい教科書を使った学習が始まります。

新版教科書では、これからの時代を担う生徒たちが言葉の力を育んでいける工夫を、これまで以上に取り入れました。

今号では、先生方からいただいたご質問に答える形で、その一部をご紹介します。さらに、新教材を使った授業のアイデアを、編集委員の先生方にお聞きしました。

「価値創造」的な

思考力を育むために

——新版教科書に込めた願い

光村図書出版 中学校国語編集部

今回は、東日本大震災後、初めての教科書改訂となりました。社会の情勢が大きく変動していく中で、今、生徒たちに出会わせたい教材、身につけさせたい力は何かが、今回の改訂の出発点でした。

これから新しい時代を担う人々は、社会の流れに追隨していくだけでなく、試行錯誤を繰り返しながら、流れを変えようとする意志をもつことがますます必要になってくるのではないだろうか。そのために、既存の価値や考え方にとられず現状を変えていけるような思考力や、豊かな感性・情緒をもって対象に向かっていく力を育むことを改訂の主眼としました。

また、昨今、「アクティブ・ラーニング」という言葉をよく耳にしますが、そのおおもとにあるのは、生徒が「なぜだろう」と考えたり、「やってみたい」と思ったりする心の働きだと思います。今回の改訂では、

学習意欲を高め、思考を活性化させる手立てとなるような教材や活動も盛り込みたいと考えました。

以上の考えに基づき、次の三つを改訂の基本方針として掲げています。

一 身につける力がはつきりわかる教科書

まず、それぞれの教材でどんな力を身につけるのかを明確に示し、最後にそれが確実に身についたかどうかを振り返ることができるような教材構成を工夫しました。また、その力が他教科や日常生活でどう活用できるのかをはつきりと示しました。

二 言葉への感覚が豊かに深まる教科書

一年冒頭の「言葉に出会うために」(P13)には次のような呼びかけを掲げました。

言葉の数だけ、世界は豊かに見えてくる。
言葉の数だけ、未来は希望に満ちてくる。
言葉の数だけ、自分の可能性が開かれる。
このように、言葉を通して世界を見つめ、感じ、創造していくために、語彙力を高め、語感を磨く教材化の工夫をしました。

三「生きること」「生き方」を考える教科書

現代社会を生き抜くうえでのよりどころとして、同時代を生きる人々の考え方に触れ、強靱でしなやかな心を育む羅針盤となるような教材を豊富に掲載しました。

本特集では、こうした方針のもとで編集した教科書について、効果的にお使いいただくためのヒントをいくつか取り上げていきます。ぜひ、日々の授業の参考にしていただければと願っています。



Q1

身につける力をわかりやすく示す構造上の工夫がありますか。

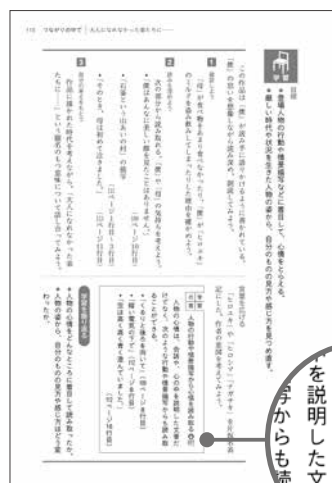
A1

「文学的（説明的）な文章を読むために」を設け、「学習の窓」とリンクさせながら、学びの観点を系統的に習得できるようにしました。

教科書巻末の折り込みに、文章をより深く読み取るための観点となる学習用語を、当該学年の教材の用例とともにコンパクトにまとめました。

「学習の窓」とリンクしているの、日々の授業の中で「観点を意識して読む」「読み方を整理する」などの活用が可能です。また、他の作品と読み比べるときや、文章を批評するときの観点にもなります。

▼学習の窓（二年 P115）



▼巻末折り込み（二年 P327 328）



登場人物の心情

登場人物の心情は、置かれた状況を踏まえて、そのような心情になった理由と共に捉える。場面ごとの心情を押さえたなら、作品全体で心情がどのように変化しているかも捉えよう。

心情は、次のような点から考えられる。
感情を表す言葉や心の中で思ったことが語られる部分

例 「うれしい」「悲しい」「満足」「不満」

「胸がいっぱいだ」「気をもむ」（慣用句）

「心の中に春風が吹いたようだ」（比喩）

「これで桜が全部散ってしまうな。」と言え

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき

ばよかったとか、「花曇りって何。」とき



「これで桜が全部散ってしまうな。」
と言えばよかったとか、「花曇りって
何。」ときけばよかったとか。思いつ
くのは後になってからだ。

「花曇りの向こう」（1年）瀬尾まいこ



「どうしてきれいなのか、わかるか。」
「生きているからだ。」
若いライオンは、はっとした。
「光る地平線」（1年）魚住直子

Q2

新しい文学作品は、どういった観点で位置づけましたか。

A2

その時期、その瞬間だからこそ強く共感できる、みずみずしい感覚を
描き出した現代作家の書きおろし作品と、「生きる」意味や平和につい
て深く考えられる読書教材を位置づけました。

「花曇りの向こう」

瀬尾まいこ

「光る地平線」

魚住直子

「世界で一番の贈り物」

マイケル・モーパッサン

中学校で国語科の教諭をされていた作家
の瀬尾まいこさんに書きおろしをお願いし
ました。中学校に入学した四月の生徒の心
情に寄り添った物語です。転校し、新しい
環境の中で周りの友達と関係を築いてい
こうとするが、なかなかうまくいかない
「僕」。その「僕」の気持ちの変化を読み取っ
たり、題名に込められた意味を考えたりす
ることを通して、文学教材の基礎・基本を
学習することができる作品です。

一年の読書教材として、児童文学作家・
魚住直子さんの作品を掲載しました。作中
に登場する若いライオンと年を取ったライ
オン。この二頭の生き方や考え方に触れる
ことで、「生きる」ことの意味を考えたり、
自分なりの生き方を探ったりすることがで
きるでしょう。同時に、読書をする楽しさ
も味わえます。

二年の読書教材には、翻訳作品を位置づ
けました。第一次世界大戦中に実際にあっ
たクリスマス休戦が描かれています。敵味
方という互いの立場を超えた人間としての
交流を読み取る中で、平和や人とのきずな
について考えを深めることができる作品で
す。

新版教科書の説明文の特徴は何ですか。

A3 多様な分野の第一人者による書きおろし作品をはじめ、さまざまな文種、構成の文章をそろえています。また、論理的思考力を身につけるのに適した文章と併せ、効果的な「学習」(手引き)を設けています。

多様なテーマの書きおろし

幅広い分野における第一線の研究者、また、現代社会に対して問題意識をもった哲学者や評論家、ジャーナリストが書きおろした文章は、生徒が自身の視点を獲得していく足がかりとなります。

発達段階に合わせたさまざまな文種

さまざまな種類の文章を発達段階を踏まえて配列しています。事実の「説明」「記録」、主張を展開する「論説」「評論」などの文種の他、読書教材として各学年にノンフィクションの作品を、新たに位置づけました。また、図表・図版を効果的に使った文章も多数取り上げています。

論理的思考力を育てる学習課題

各教材の「学習」(手引き)では、「事実」と意見に着目する」「論理の展開を捉える」

「話すこと・聞くこと」「書くこと」にはどんな工夫がありますか。

A4 コンパクトな練習教材を増やし、スモールステップで着実に力をつけます。また、アクティブ・ラーニングに対応した構成や、学習意欲を引き出す題材を用意しました。

練習教材(絵画を分析する観点を学ぶ)



本教材(分析したことをもとに鑑賞文を書く)



などといった、論理的思考力を支える力を位置づけています。それぞれの力を身につけるのに適した課題を設け、生徒たちが興味をもって学習するとともに日常・社会生活の中で必要な思考力や判断力を育みます。

■説明的な文章の一覧【 】は文種

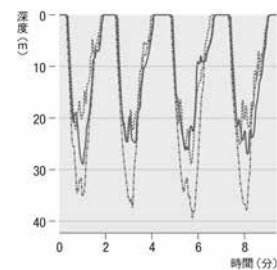
1年【説明】	ダイコンは大きな根?	稲垣栄洋
【説明】	ちょっと立ち止まって	桑原茂夫
【随筆】	空を見上げて	山中 勉
【記録】	シカの「落ち穂拾い」 ーフィールドノートの記録から	辻 大和
【説明】	幻の魚は生きていた	中坊徹次
【ノンフィクション】	桜守三代	鈴木嘉一
2年【説明】	生物が記録する科学 ーバイオリギングの可能性	佐藤克文
【論説】	モアイは語るー地球の未来	安田喜憲
【評論】	君は「最後の晩餐」を 知っているか	布施英利
【ノンフィクション】	小さな町のラジオ発 ー臨時災害放送局「りんごラジオ」	高橋 厚
【論説】	科学はあなたの中にある	最相葉月
3年【説明】	月の起源を探る	小久保英一郎
【論説】	「批評」の言葉をためる	竹田青嗣
【論説】	新聞の社説を比較して読もう	
【論説】	作られた「物語」を超えて	山極寿一
【ノンフィクション】	エルサルバドルの少女 ヘスース	長倉洋海
【論説】	誰かの代わりに	鷲田清一

鑑賞文(一年)の芸術作品は、美術の教科書(光村図書)と連携し、同じものを載せています。他教科と行き来しながら、効果的に学ぶことができます。批評文(三年)の素材は、身の回りに実際にある広告を取り上げ、生徒が意欲的に取り組み、社会生活にも目を向けるきっかけとなるようにしました。

他教科との関連



本物で学ぶ



「生物が記録する科学」(2年) 人間が観察することのできない場所を、記録計を取り付けた動物が調査する「バイオリギング」という新しい手法について、実際の調査に基づいて述べた説明文。動物たちの写真はもちろん、調査結果を表した図表も多数用いられています。

新版教科書で、 こんな授業がしたい

編集委員の甲斐利恵子先生（東京都港区立赤坂中学校教諭）と宗我部義則先生（お茶の水女子大学附属中学校教諭）に、新教材を使った授業のアイデアをお聞きました。

甲斐利恵子先生のアイデア



甲斐利恵子

福岡県生まれ。東京都港区立赤坂中学校教諭。光村図書中学校『国語』教科書編集委員。専門は国語科単元学習。著書に、『子どもの情景』（共著・光村教育図書）、『聞き手話し手を育てる』（共著・東洋館出版社）など。

心を開く 「国語教室びらき」

「花曇りの向こう」（二年）

読む

クスツとおもしろくて、ほんのちよつと胸がツンとする。そんな瀬尾まいこさんらしい温かさが感じられる、とてもよい作品ですね。一年生の一学期といえまだ、子どもたちは、新しい人間関係をうまく作れずにいる時期。「授業でどんな発言をしたらいんだろう」などと、たくさんの不安

気に入った会話を発表し合う

一方で、作品の魅力の一つである、軽妙な会話にも注目したいところです。ですから、私なら、「いちばん気に入った会話を発表し合う」という授業をしたいですね。会話文だけを抜き出した一覧表をこちらで用意し、その中から、子どもたちに気に入ったものを一つ選ばせ、理由とともに発表させるんです。

みんなで会話文の一覧表を見るだけでも、教室の空気はやわらかくなるはず。「こんなことを考える子なんだな」と、教師がここにしながら発表を聞いていられるのも、この作品のよさです。学習のルールも、楽しい雰囲気の中で伝えていけるでしょう。

そして、授業の終わりには、「ばあちゃんってどんな人？」「川口君ってどんな人？」などと尋ね、好きな登場人物の人物像について、簡単に述べさせてみたいと思います。そうすれば、この後の学習で、人物像や作品における人物の役割について考えるときにステップにもなります。



「花曇りの向こう」（1年）

「登場人物が魅力的なんですよ。特に、『ばあちゃん』が存在する意味は大きい。そのことを、子どもたちと語り合いたい」と、甲斐先生。

科学の出発点に光を当てる

今、考えているのは、「なぜ」と問う人」という単元です。これは、現代の科学技術を生み出した人について調べて考えの道筋をたどり、出発点の「問い」が何だったのかを考えるという学習。最相さんのご著書『調べてみよう、書いてみよう』（講談社）には、問いを立てて調べる過程が紹介されているので、これを使って「問い」にさかのぼることもできそうです。

「なぜ」と問う人たちの、科学の出発点に光を当てることで、問うこと、問いを柱にして物事を追究することの価値を、子

学ぶというつとめと再考 「三年間の歩みを振り返ろう」（三年）

話す
聞く
書く

単なる思い出ではなく、「学び」を振り返るといのが、すばらしいですね。特に、「三年間の歩みを振り返ろう」（三年）がいいと思います。私自身、中学校三年間の学びを振り返る「学ぶということ再考」という単元を実践したことがあります。子どもたちは、三年間で劇的な成長を遂げています。今の自分に成長の実感があるから、過去の未熟さを客観的に見ることができて、学びについて語り合うことが、とてもしつくりきたのを覚えています。

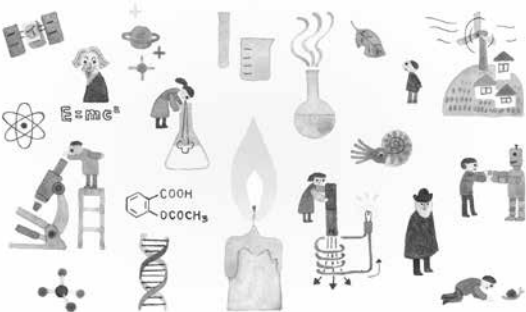
このとき大切なのが、「何を通して」振り返るか。私は、印象に残った「言葉」、何かを教えてくれた「人」という二つの観点で振り返らせました。教科書P21には、

「なぜ」と問う人

「科学はあなたの中にある」（二年）

読む

授業をするのが特に楽しみなのが、この説明文です。私、筆者の最相葉月さんのファンなんです（笑）。以前、最相さんと対談をさせていただいたとき（※1）に感じたのは、彼女が自分の中にある問いを原動力にして、その答えを求めて人にぶつかっていく、エネルギーの力強さです。その力強さがノンフィクションという文章を紡ぎ出しているということに圧倒されました。この文章も同じはず。説明文ではありますが、子どもたちに、筆者の思いを読み取らせるのもいいと思います。



「科学はあなたの中にある」（2年）

「『平らかな気持ちで検証し、真実に一歩でも近づこうとする』（教科書 P223 L6・7）」という部分から、筆者の価値観が読み取れます。この価値観に出会わせたいんです。

他の観点も示されているので、それを参考にすることもできますね。

学習記録を活用

過去の教科書を取っておけば、それを使って振り返ることはできると思いますよ。ちなみに、私は、三年間ずっと子どもたちに学習記録をつけさせているので、それを使いました。学習記録があれば、より具体的に、学びを振り返ることができるかもしれません。各学年の教科書冒頭「続けてみよう」では、記録やメモの取り方が紹介されています。これを活用しながら学習記録をつけて、この学習のための準備をしておくのもいい方法だと思います。

学習用語に出会うために

「文学的な文章を読むために」
「説明的な文章を読むために」
(一〜三年)

読む

各学年の巻末折り込み「文学的な文章を読むために」「説明的な文章を読むために」は、ぜひ活用したいページです。文学・説

ものの見方・考え方の観点をつくる

例えば、「故郷」(三年)で、「なぜ、ヤンおばさんはこの作品に登場したのか」を考えるためには、「登場人物の設定」という概念を理解している必要があるでしょう。そして、私たちは、そうした概念を言葉とともに獲得していきます。つまり、抽象的な概念を定義づけた学習用語を身につけることで、ものの見方・考え方の観点がつくられていくのだといえます。

授業の中では、積極的に学習用語を使って、子どもたちに浸透させていきたいですね。まずは、学習用語に出会うたびに、この折り込みを開いて、みんなで確認するところから始めてみるつもりです。

宗我部義則先生のアイデア



そがべよし のり
宗我部義則
埼玉県生まれ。お茶の水女子大学附属中学校教諭。お茶の水女子大学非常勤講師。「教育課程実施状況調査問題(中学校国語)」作成および分析委員。平成20年告示中学校学習指導要領解説国語編作成協力者。

「ずばりひと言」の鑑賞文

「竹」(二年)

読む

萩原朔太郎作品の中でも、取り上げやすい詩ですね。子どもたちは、「生え」の繰り返しがおもしろい」と感じるはず。その秘密を考えるような形で、繰り返しや連用中止の表現に注目させたいと思います。

感じたことと表現をつなぐ

音読では、「生え」の後の余韻を想像しながら読み方を工夫することで、描かれている竹の姿をイメージさせたいです。その後は、「竹が生え、竹林には静寂が訪れた。」などと、「竹が生え、」の後に続く「ずばり

ひと言」の鑑賞文を書かせるのもおもしろそうです。音読して感じたことと表現をつなぐんです。

ただ、その際は、子どもたちが取り組みやすいように、文型は教師のほうで示しておきたいところです。例えば、「あたりは一面、にぎやかな感じになった。」のように、「〇〇は、くだ／＼になった。」という型。それから「作者は、真つすぐな気持ちでいる。」のように、「(自分も含めて)作者は、く／＼な気持ちだ。」という型もあるといいかもしれません。

身の回りに竹林がなく、その清冽な感じを想像するのが難しい場合もあるでしょう。そんなときは、授業中、青々とした竹や竹林の写真をスクリーンに映すなどでできればいいでしょうね。きつと、感じるイメージが違ってくるはずです。

文学的な文章を読むために(物語・小説)

文学的な文章の鑑賞 文学作品は、物語や小説、短歌や詩、随筆・俳句などの文芸形式で書かれています。鑑賞とは、その作品の表現や内容、作者の意図などを理解し、その価値を評価することです。	鑑賞の手順 1. 作品の題名や著者を確認する。 2. 作品のあらましを把握する。 3. 作品の表現や内容を読み取る。 4. 作品の価値を評価する。	鑑賞のポイント ・作品の表現や内容を読み取る。 ・作品の価値を評価する。
鑑賞の心構え 鑑賞とは、作品の表現や内容を読み取るだけでなく、その価値を評価することです。そのため、作品の表現や内容を読み取るだけでなく、その価値を評価することが大切です。	鑑賞の方法 鑑賞の方法には、音読、黙読、話し合いなどがあります。それぞれの特徴を理解し、適切な方法を選択することが大切です。	鑑賞の意義 鑑賞は、作品の表現や内容を読み取るだけでなく、その価値を評価することです。そのため、作品の表現や内容を読み取るだけでなく、その価値を評価することが大切です。
鑑賞の活用 鑑賞は、作品の表現や内容を読み取るだけでなく、その価値を評価することです。そのため、作品の表現や内容を読み取るだけでなく、その価値を評価することが大切です。	鑑賞の発展 鑑賞は、作品の表現や内容を読み取るだけでなく、その価値を評価することです。そのため、作品の表現や内容を読み取るだけでなく、その価値を評価することが大切です。	鑑賞のまとめ 鑑賞は、作品の表現や内容を読み取るだけでなく、その価値を評価することです。そのため、作品の表現や内容を読み取るだけでなく、その価値を評価することが大切です。

「文学的な文章を読むために」(1年)

「文学を読むための基本的な学習用語が整理されています。必要に応じて示されている、教科書本文の用例は、子どもたちと確認するときに活用できそうです」と、甲斐先生。

筆者の思いを追体験する

「生物が記録する科学」
バイオロギングの可能性
(二年)

読む

ずっと読めて、いつの間にか筆者に共感してしまふ。そんな力のある文章ですね。調査を進める筆者の、わくわくする思いを追体験しながら読みたい説明文です。

筆者の心の動きを率直に感じるには、文章中の「事実」と「そこから筆者が考えたこと」の関係を押さえるのがいいでしょう。デジタル教科書を使い、この二つを色分けしていくのもいい方法ですね。

説明文の授業では、概念的・論理的な理

とに話し合い、「こういうことが言いたいのですか？」と、彼に問いかける。それは、つまり、鷺田さんと対話するということです。私はそうした授業がしてみたいですね。

ディスカッションのスタイルで

考えられるのは、ディスカッションをすることです。まず、子どもたちに、文章中で自分がわからない点を短冊に書き出させる。そして、そこから、各自が答えられるものを選び、考えを述べるところから話し合いを始めるんです。短冊には、「こう考えたが、それでいいか」という、確かめの質問も書くようにさせます。そうやって「鷺田さんなら、こう答えるだろう」「私はこう思う」と、考えを返し合うことができた最高でしょうね。

また、この文章をきっかけに、読書に展開するのも一つの方法です。「自分について考えさせられた本」などとテーマを決めて、読書会を開くのもいいでしょう。

授業の終わりにには、『パンセ』の「人間は考える葦である」という言葉(※2)にも触れてみたいです。わからないまま終わってもいい。何年も経って、いつか子どもたちの中に芽吹く。そんな授業になればと思います。

それから、私は、スピーチ力を、スピーチの内容について質問・意見交流することも含めた、インタラクティブなものだと捉えています。この教材でも、スピーチの後に、質問や意見交流の時間を取り、「一往復半」の生き生きとしたやり取りをするこ

とにもウエイトを置きたいですね。

**スピーチを
インタラクティブに**

「社会との関わりを伝えよう」
(三年)

話す
聞く

わかりやすい、いい教材です。教材の目標は、場と相手の様子に応じた話し方をすることですが、そのためには、スピーチがうわべだけのものにならないよう、活動に「真正性」、つまり現実味をもたせることを意識したいと思います。

例えば、話題。教科書にも例がありますが、私なら、「考えさせられたニュース・出来事」を設定したいですね。子どもたちが日頃、抱いている社会への疑問・意見に焦点を当てて、「中学三年生の主張」のようなスピーチをさせてもいいかもしれませ

ん。

それから、私は、スピーチ力を、スピーチの内容について質問・意見交流すること

も含めた、インタラクティブなものだと捉えています。この教材でも、スピーチの後に、質問や意見交流の時間を取り、「一往復半」の生き生きとしたやり取りをするこ

以前にもご紹介したことがあります(※3)、私は、「言葉の手帳」(一年「続けてみよう」)のように書き留めた言葉を、毎日の国語の時間に発表させるという実践を続けています。

当初のねらいは語彙の拡充、情報収集・批評の日常化でしたが、発表に一人一人の個性が見えてきて、クラスづくりのうえでも大いに意味がありました。ですから、この教材を使って、日常的な記録・発表に取り組むことをお勧めしたいですね。

教科書で紹介されている例は取り組みやすいものがほとんどですが、「創作メモ」(二年)は、とっつきにくさを感じるかもしれません。しかし、あまり形にこだわらずに、一行詩みたいなものや、思いついたすてきな言い回しでもいいので書き留めさせるようにすれば、負担感は減るでしょう。「描写」の学習とつなげて、おもしろそうです。

そうして、書きためるだけでなく、少しずつ発表し合っていくことを大事にしたいです。

記録・発表の日常化

「続けてみよう」(二〜三年)

書く

以前にもご紹介したことがあります(※3)、私は、「言葉の手帳」(一年「続けてみよう」)のように書き留めた言葉を、毎日の国語の時間に発表させるという実践を続けています。

当初のねらいは語彙の拡充、情報収集・批評の日常化でしたが、発表に一人一人の個性が見えてきて、クラスづくりのうえでも大いに意味がありました。ですから、この教材を使って、日常的な記録・発表に取り組むことをお勧めしたいですね。

教科書で紹介されている例は取り組みやすいものがほとんどですが、「創作メモ」(二年)は、とっつきにくさを感じるかもしれ

ません。しかし、あまり形にこだわらずに、一行詩みたいなものや、思いついたすてきな言い回しでもいいので書き留めさせるよ

うにすれば、負担感は減るでしょう。「描写」の学習とつなげて、おもしろそうです。

そうして、書きためるだけでなく、少



「生物が記録する科学——バイオリギングの可能性」(2年)

「どれがペンギンかはわかるけれど、なぜこんなやり方なのか。それを考えることで、文章に書かれていた『カメラを背中につける』ということが実感できるんです」と、宗我部先生。

解だけでなく、身体的・感覚的な理解、つまり「腑に落ちてわかる」ことも大事にしたいと、私は考えています。

そこで活用したいのが、文章中の写真やグラフです。例えば、教科書P44の写真A(写真)。文章だけではなく、写真を見て「なぜ、ペンギンがこんなやり方をしているのか」と考えるからこそ、「カメラを背中に付けるって、そういうことか」と、腑に落ちてわかるんです。そんなふうに、写真やグラフを使って、子どもたちの感覚に訴え、気づきを引き出したいですね。

筆者と対話するように

「誰かの代わりに」
(三年)

読む

これに出会うことが、この教科書を使う意味の一つ。そう言ってもいいほどにすばらしい文章ですね。この文章を深く読むとは、投げかけられたテーマから、自分の考えを紡ぎ出し、友達とやり取りすることなのだろうと思います。筆者・鷺田清一さんが伝えようとしたことを、経験をも



「誰かの代わりに」(3年)

「国語の授業は、種まきです。今はわからなくても、何年後かに、この挿絵のように芽吹けばいい。いつか、この文章の意味にたどり着いたときに、『みんなで語り合ったな』と思い出してもらえる授業にしたいです」。

「世界で一番の贈り物」(2年)

翻訳家 ^{さとうみかむ} 佐藤見果夢

イーペル（本作品に描かれる戦場の舞台と考えられる町）の市民は、復興した町の中心街に、「フランドース戦場博物館」を建てました。この博物館の目的は、何よりも第一次世界大戦の悲惨さを伝えることです。が、他にも大きな特徴があります。それは、この地で戦った兵士たちとその家族の記録を、国籍を越えて収集していること。（中略）

「世界で一番の贈り物」に描かれたクリスマス休戦のエピソードを見れば、着ている軍服が違うだけで敵味方として憎みあうのが、どれほど愚かなことかがよくわかります。自分たちの生活の場を戦闘地に使われた被害者であるイーペル市民が、国を越えた戦場博物館を作ったのも、同じ気持ちからでしょう。

（『学習指導書2上』『訳者の言葉』より抜粋）



「桜守三代」(1年)

ジャーナリスト ^{すずきよしかず} 鈴木嘉一

全国の名桜を訪ね歩く佐野さんは「『ようここまで大きゅうなったな。そうそうは来られんけど、来年の春も気張って咲いてや。』と話しかけると、桜の木も喜びますわ。ほんまでっせ。」と真顔で話す。植物全般や庭石とも対話をするこの人にとって、植物や森林は人間と同じく自然界に生きる「生き物」である。逆に言えば、人間も自然界の一部にすぎない。

自然との対話を重ねてきた生き方、長年の経験と体からにじみ出たような言葉は、いぶし銀の輝きを放っている。

（『学習指導書1下』『筆者の言葉』より抜粋）



「生物が記録する科学

——バイオロギングの可能性」(2年)

動物行動学者 ^{さとうかつふみ} 佐藤克文

東京大学の教員として優秀な学生達に日々接するうちに気づいたのだが、未解決の謎をスマートに解ける学生は時々いるが、おもしろい謎、すなわち良い課題を自力で見つけられる学生はなかなかいない。研究者として幸せな一生を過ごせるか否かは、良い課題を自ら発掘できるかどうかにかかっている。「なんで?」を連発して先生を困らせる中学生がいたら、「君みたいな人が研究者に向いているらしい」と伝えていただきたい。研究が進むほど、謎が増えていく研究者の日常は、永遠に飽きることのない知的興奮にうち満ちた、世界最高の旅なのだ。

（『学習指導書2上』『筆者の言葉』より抜粋）



「作られた『物語』を超えて」(3年)

人類学・霊長類学者 ^{やまぎわじゅいち} 山極寿一

数年前、私は26年ぶりで昔仲良く付き合ったタイタスというゴリラに会いに行ったことがある。双方とも年をとっていたので、最初は気がついてくれなかった。でも二度目の出会いで私のあいさつに答えたタイタスは、突然子どものような顔になって、昔よくやったしぐさを私に見せ始めた。ああ、思い出してくれたんだな、と思うと、私は目頭が熱くなった。タイタスは26年という不在の時をはさんで、私を仲間として迎えてくれたのである。

逆の立場に立ったとき、そんなことが人間に可能だろうか、と私は思う。森を伐採し、野生動物たちを追いつめ、人間だけが住める世界を作っている私たちはどこへ行くのだろう。明日の世界を担う若い世代の人々に、少しでも自然の声に耳を傾けてほしいと思う。

（『学習指導書3下』『筆者の言葉』より抜粋）



「古典を心の中に」(3年)

国文学者 ^{たけうちまさひこ} 竹内正彦

現代に至ってもなお『源氏物語』などの古典は、著名な作家たちによって訳され続けている。新しい作品を生み出している現在の作家たちもまた、古典に親しみ、古典に学んでいるということなのだろう。むしろ、個性が重んじられる現代こそ、さまざまな古典に親しむということがますます重要になっている。古典を心の中にもつことは、今ここに生きるわたしたちの世界を拓いていく力となるのにちがいない。

（『学習指導書3下』『筆者の言葉』より抜粋）



アクティブ・ラーニング Q&A

第三回

これまで言われてきた「言語活動の充実」とアクティブ・ラーニングとは、どのように違うのでしょうか。

A 課題解決的な言語活動を位置づけ、いっそうの指導の工夫をすることが、アクティブ・ラーニングにつながります。

今回の質問はよく聞かれるものなので一つに絞って詳しく回答したいと思います。まず、前回、「知識・技能を使って課題を解決しながら思考・判断・表現し、同時に、社会や世界と関わり、人生を豊かなものにしよ」とする気持ちを育てることを目指す授業」がアクティブ・ラーニングではないかと述べました。この意味で、言語活

動の充実を図る国語科の授業はアクティブ・ラーニングだといえます。

国語科における言語活動の捉え方

ここで、現在の学習指導要領における言語活動の位置づけを振り返っておきましょう。『中学校学習指導要領解説 国語編』には、次のような記述があります（傍線は富山）。

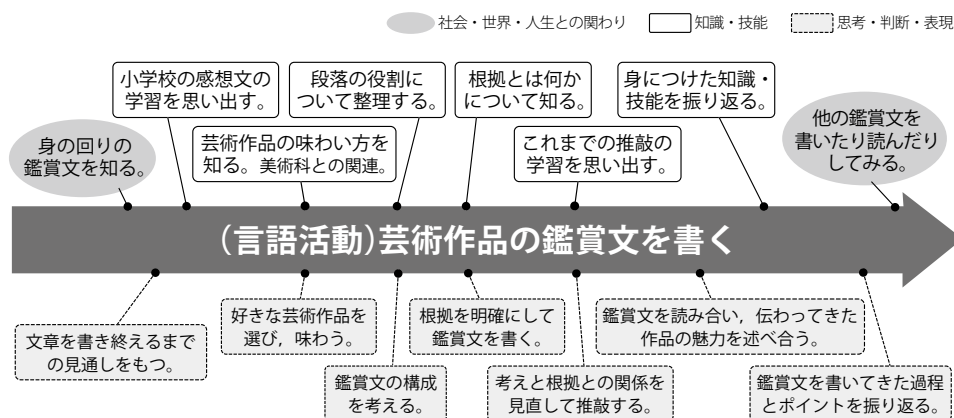
「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」の各領域においては、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることができるよう、内容の②に社会生活に必要なとされる発表、案内、報告、編集、鑑賞、批評などの言語活動を具体的に例示している。（P7）

これから整理できるのは、
①言語活動は課題解決を目指すものである。
②（中学校の）言語活動は社会生活に結び付いたものである。

ということです。①について言えば、単に「話す・聞く・書く・読む」ことを言語活動と捉えるのではなく、単元を通して大きな課題を解決することを言語活動と捉えるということです。②については、日常生活や社会生活、他の教科の学習等で取り組まれている言語活動を、国語の学習に積極的に取り入れるということです。これを踏まえて、各学年・各領域の「言語活動例」が明示されているのです。

第一学年に「関心のある芸術的な作品などについて、鑑賞したことを文章に書くこと」という言語活動例があります。光村図書の教科書では、「芸術作品の鑑賞文を書く」という内容で教材化されています。芸

▼芸術作品の鑑賞文を書くために必要な知識・技能と、思考・判断・表現の場面



術作品の鑑賞文を書くためには、上図に示すような、さまざまな知識・技能が必要になったり、思考・判断・表現する場面が求められたりします。また、身の回りや他教科の授業における鑑賞文についても関心を高めることが期待できます。これらを効果的に位置づけている授業は、すでにアクティブ・ラーニングになっているといえます。

主体的・協働的な言語活動にするために

いっぽう、課題解決的な言語活動を設定しても、指導のしかたによってはアクティブ・ラーニングにならないことがあります。わかりやすい例は、生徒が思い出したり考えたりすべき内容を、教師が説明してしまったり、マニュアル的なワークシートで示してしまったりすることです。これでは生徒が受け身になってしまいます。マニュアル的な手立てはつまづいている生徒への支援に用いることにし、まずは自力で考えさせるよう指導することが大切でしょう。次に、考えを深めさせる場面で、協働的な学習を効果的に位置づけることが重要で



富山哲也

十文字学園女子大学人間生活学部児童教育学科教授。東京都立中学校教員。あきる野市教育委員会、多摩教育事務所、東京都教育庁指導部指導主事を経て、平成16年10月から文部科学省教科調査官（国語）、国立教育政策研究所教育課程調査官・学力調査官。平成20年版学習指導要領の作成、全国学力・学習状況調査の問題作成・分析等に携わる。平成27年4月から現職。第1期＜絵本専門士＞。

改めて、アクティブ・ラーニングは全く新しい概念ではなく、特に国語科においては、課題解決的な言語活動の設定といっその指導の工夫をすることが、その趣旨の実現につながると考えるべきだと思います。

新版『中学書写』教科書Q&A

新しい教科書には、これまで以上にさまざまな工夫が盛り込まれています。
先生方からのご質問に答える形で、その一部をご紹介します。



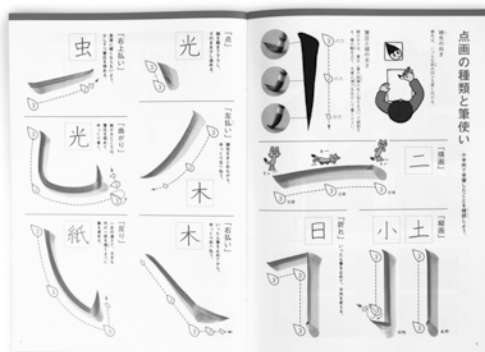
Q1 これまでの教科書と比べて、
どんなところが新しくなりましたか。

A1 短時間で効率的に学べるよう、一教材一見開きのコンパクトな構成とし、全教材に「学習の窓」を設けました。

中学校における書写の標準時数は、一、二年で各二十時間、三年ではわずかに十時間。生徒は週一度に満たない授業の中で、「行書」を一から学びます。
そこで新版では、短時間で効率的に「書く力」を身につけられる教科書を目指しました。中学校で学習すべきことを精選し、教材数を最小限に抑えています。そ

の代わり、一つ一つの教材でねらいを焦点化し、効率的に力をつけられるよう工夫しました。各教材は、一教材一見開きのコンパクトな構成とし、汎用性のある書き方のこつを「学習の窓」にまとめました。学習の目的や流れが、ひと目でわかるようになっていきます。

基礎編



▲ P6-7 楷書の筆使い



▲ P8-9 楷書の字形・配列

学習編

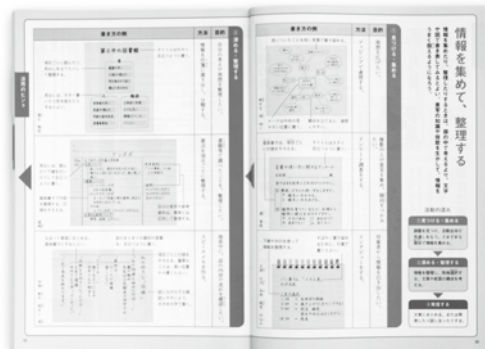
1教材1見開きのコンパクトな構成

汎用性のある書き方のこつがひと目でわかる、「学習の窓」を新設しました。



▲ P26-27

資料編



▲ P68-69 国語との関連



▲ P76-77 書写力活用のヒント

Q2

「基礎編」「学習編」「資料編」に分かれています。それぞれ、各々どんなときに使うのですか。

A2

必修は本編である「学習編」のみです。基礎・基本の確認には「基礎編」、学習を広げたり日常に生かしたりするには「資料編」をご活用ください。

可能な限りスリム化した「学習編」を軸に、必要に応じて「基礎編」「資料編」を取り入れていただくことで、地域や学校、生徒の特性に合わせた柔軟なカリキュラムを実現できます。

「基礎編」……小学校での学習内容をまとめました。授業びらきや書写の基礎・基本を押さえたときに使えます。

「学習編」……中学校での学習内容を、一教材一見開きでコンパクトに示しました。短時間で効率的に基礎・基本を習得することができます。

「資料編」……定型書式の書き方や、書写力活用のヒント、常用漢字表をはじめとする文字資料を収めました。生徒が文字を書くこうとする全ての場面でご利用いただけます。

▼教材に関連した動画

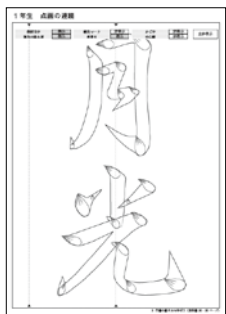


筆使いを動画で確認できます。

毛筆原寸大資料
(冊子・DVD)



▲▼教材に関連した毛筆
ワークシート



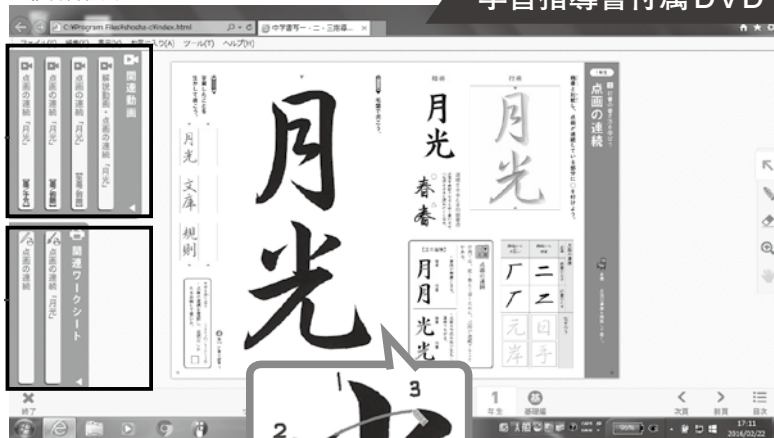
付属 DVD 収録の毛筆
原寸大資料では、穂先・
籠字・骨書き等、必要
な要素だけを表示して
練習用紙を作れます。

学習指導書「朱書編」



学習指導書付属 DVD

▼教科書紙面ビュー



部分拡大や書き
込みができます。

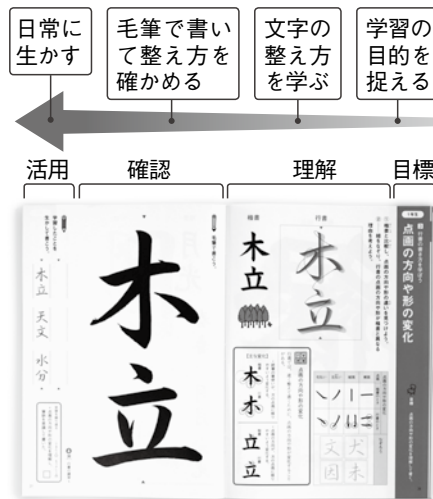
A5

Q5

自分の字に自信がなく、書写の
指導がおっくうです。何をどう
教えればよいのでしょうか。

学習指導書「朱書編」や、付
属DVDの動画資料「毛筆原
寸大資料」をご活用いただい
れば、授業効率が上がり、ご負
担もぐっと軽くなります。

行書の「筆脈」や「筆使い」を伝える
には、書いて見せるのがいちばんです。
ただ、生徒に目配りしながら範書をする
のは、大変なことです。学習指導書付属
DVDの動画を使えば、手元に寄った画
像で筆脈まではしっかりと確認できます。
また、拡大投影した教材文字にポイント
を書き込み、クラス全員で共有すること
も可能です。指導のポイントや板書のし
かたは「朱書編」をご覧ください。学習
指導書は、授業を強力にサポートします。



▲ P26-27

▼学習指導書「朱書編」P77



『国語』との関連は
学習指導書「朱書編」
で示しています。

「学習を通して何を学ぶのか」を明確
にするため、教材冒頭には「文字の整え
方」を示しています。お手本どおり美し
く書ければ、もちろん満足感があります
が、そこで完結してしまいます。整え方
を学ぶからこそ他の文字に応用が効き、
日常生活の中で繰り返し使うことで、生
きた知識・技能として定着するのです。

A3

Q3

なぜ、毛筆文字を教材の初めに
掲げないのですか。

作品として美しく仕上げる
ことよりも、文字の整え方
を学ぶことを重視してい
るからです。

A4

Q4

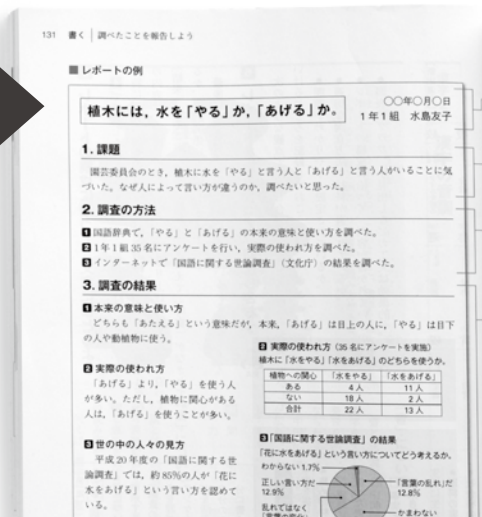
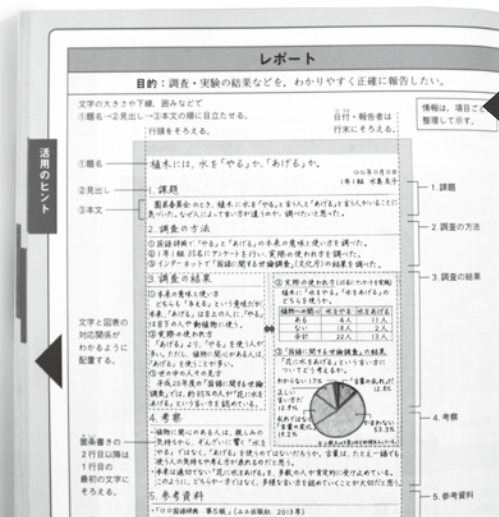
国語との連携は、どのような形
で図られていますか。

国語で学んだ文章を書くだけ
でなく、書写で学んだ知識・
技能を国語に生かす、具体的
なヒントが示されています。

連携

「国語 一年 (P13)」

「中学書写 (P7)」



平成28年度版『国語』移行資料

この資料は、弊社『国語』教科書が平成24年度版から28年度版へと継続使用される学校において、文法・言語・漢字の指導が円滑に行われるよう作成したものです。

① 文法および言語等に関する事項の主な相違点（扱う学年が下がるもの）

平成24年度版から28年度版への改訂において、文法・言語事項で扱う学年が下がるものはありません。二年・三年にはそれぞれ前学年の復習のページが用意されています。必要に応じてご利用ください。

② 新出漢字の移動と新版での指導箇所

次表は、改訂により「新出漢字」として学習する機会がなくなる漢字について、新たに指導していただく箇所を示したものです。

表1 新版を二年用から使い始める場合

旧版二年・三年から、新版一年へ新出箇所が移動したもの。

漢字	初出学年	指導箇所	用例	
24光 28光	学年	ページ	段・行	
枯	2 1	3 107	4	枯れ草
幻	2 1			(幻)
肩	2 1	2 109	2	肩
菌	2 1			(病原菌)
凶	3 1	3 91	注	凶悪
丘	2 1	2 79	上7	丘
吉	2 1	2 94	2	不吉
戯	3 1	73 45	著書	戯曲
幾	2 1	2 135	4	幾つ
祈	2 1	2 77	上12	祈念
奇	2 1	2 197	上9	好奇心
頑	2 1	2 48	5	頑強
含	2 1	2 66	12	含める
嚇	3 1			(威嚇)
隔	3 1	3 109	5	分け隔てる
殻	3 1		19	貝殻
牙	2 1			(牙)
華	2 1	2 150	5	繁華
苛	2 1			(苛烈)
乙	3 1	3 42	下11	甲乙
旺	2 1			(旺盛)
緯	3 1	3 126	表内	経緯
威	2 1	2 107	2	威厳
曖	2 1			(曖昧)

表2 新版を三年用から使い始める場合

旧版三年から、新版一年・二年へ新出箇所が移動したもの。

例えば「威」は、旧版二年から新版一年に新出箇所が移動した漢字ですので、二年生から新版を使う場合には、二年P107「威厳」のところで新出漢字としてご指導ください。

注1 用例中に（ ）で示したものは、

以下の場合について用例を補ったものです。

- ・下学年に既に提出され、以後教科書中に用例がない場合。この場合は、適当な機会に取り立てて指導を行ってください。
- ・用例が語として提出されていない場合。
- ・用例が固有名詞の場合。
- ・用例が中学校では学習しない音訓の場合。

																				漢字	初出学年	指導箇所 段・行	用例
																				24光	28光		
																				学年	ページ		
刃	辱	震	拭	譲	鐘	緒	獣	柔	汁	秀	殊	寂	嫉	軸	施	斬	塞	催	魂	頃	控	肯	鼓
3	2	2	2	3	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	3	2	3	3	2	3	2	3
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2		2	2		2	2	3	2	2	3	2
89	182	39	242	126	62	65	87	65	65	189	50	24		197	37		225	168	118	18	258	199	280
上10	上5	下10	下5	上9	上13	8	4段目	11	11	1段目	上13	4		8	下6		新出漢字	下6	19	2	上3	10	上15
刃	侮辱	地震	拭う	謙譲語	鐘の音	情緒	獣	柔らかい	果汁	優秀	殊勲	寂しい	(嫉妬)	車軸	施設	(斬新)	脳梗塞	催す	魂	学生の頃	控える	肯定	太鼓

注2 旧版一年から新版の二・三年へ学年

を繰り上げて提出した漢字は、新版二・三年教科書で「新出漢字」として扱われています。その場合は重ねて指導することになりますので、あらかじめそのことを生徒に知らせておいてからご指導ください。

漢字																								初出学年		指導箇所			
																								24光	28光	学年	ページ	段・行	
伯	罵	寧	匂	曇	妬	滴	諦	駐	致	捉	憎	喪	爽	挿	礎	織	羨	占	随	炊	腎	陣	尽						
2	2	2	2	3	2	3	2	3	2	2	3	2	3	2	3	2	2	3	3	2	3	2	3	24光					
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	28光					
3	2	2	2				2	3	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2		2	2	学年					
274	106	115	99				159	169	47	62	202	42	51	220	219	86	23	180	33	108		133	46	ページ					
下2	8	3	12				1	下5	1	下13	9	下5	4段目	脚注	脚注	3段目	16	上11	出典	3		5	3	段・行					
伯爵	罵声	丁寧	匂い	(花曇り)	(妬む)	(点滴)	諦め	駐輪場	一致		憎む	喪中	爽やか	挿絵	基礎	織細	羨ましい	占める	随筆	雑炊	(腎臓)	陣	捕り尽くす	用例					

表2
新版を3年用から使い始める場合

刃	刺	症	潤	殉	泣	秀	殊	邪	赦	錯	催	鎖	詐	魂	乞	梗	控	漢字	初出学年	指導箇所
3 1	3 2	3 2	3 2	3 2	3 2	3 1	3 1	3 2	3 2	3 1	3 1	3 2	3 2	3 1	3 2	3 2	3 1	24 光28 光	初出学年	指導箇所
3 89		3 199	3 130	3 20	3 208			3 19			3 87	3 105		3 118				学年 ページ	指導箇所	段・行
上 10		19	下 8	脚 注	上 9			9			下 10	著 書		19				用例		
刃	(過刺)	依存症	利潤	殉教	泣柿	(秀麗)	(特殊)	無邪気	(容赦)	(錯覚)	催促	鎖国	(詐欺)	魂	(命乞い)	(梗概)	(控えめ)			

殻	垣	概	乙	憶	炎	緯	慰	漢字	初出学年	指導箇所
3 1	3 2	3 1	3 1	3 1	3 1	3 1	3 2	24 光28 光	初出学年	指導箇所
3 109	3 196	3 59	3 42	3 19		3 126		学年 ページ	指導箇所	段・行
19	冬の 季語	下 6	下 11	13		表内				
貝殻	竹垣	概念	甲乙	記憶	(炎)	経緯	(慰める)	用例		

腐	符	匹	避	被	藩	斑	般	伐	縛	漠	剥	拍	漢字	初出学年	指導箇所
3 1	3 1	2 1	2 1	2 1	2 1	3 1	2 1	2 1	2 1	3 1	2 1	2 1	24 光28 光	初出学年	指導箇所
3 112	2 257	2 32	2 46	2 87	3 91		2 82	2 119	2 193	2 232	2 76	2 69	学年 ページ	指導箇所	段・行
14	上 2	下 7	20	1 段目	注		注	18	18	18	下 7	17			
豆腐	切符	二匹	避ける	被爆	藩主	(斑点)	一般	伐採	捕縛	漠然	剥がれる	拍手	用例		

廃	曇	騰	滴	偵	邸	聴	駐	壇	憎	葬	爽	礎	潜	占	摂	随	腎	漢字	初出学年	指導箇所
3 2	3 1	3 2	3 1	3 2	3 2	3 1	3 1	3 2	3 1	3 2	3 1	3 1	3 2	3 1	3 2	3 1	3 1	24 光28 光	初出学年	指導箇所
3 37						3 39	3 169	3 143	3 21	3 28	3 222		3 85	3 45		3 53		学年 ページ	指導箇所	段・行
上 6						20	下 5	脚 注	6	6	上 9		下 20	15		下 12				
廃品	(花曇り)	(沸騰)	(点滴)	(探偵)	(邸宅)	清聴	駐輪場	歌壇	憎む	葬式	爽やか	(基礎)	潜む	占める	(摂理)	随筆	(腎臓)	用例		

仰	峽	凶	菊	戯	艦	嚇	隔	漢字	初出学年	指導箇所
3 2	3 2	3 1	3 2	3 1	3 2	3 1	3 1	24 光28 光	初出学年	指導箇所
3 81	3 42	3 91	3 70	3 28			3 66	学年 ページ	指導箇所	段・行
下 15	下 4	注	7	著書			5			
仰ぐ	峽谷	凶悪	冬菊	戯曲	(軍艦)	(威嚇)	分け隔てる	用例		

味	撲	紡	忙	砲	泡	芳	遍	蔑	壁	払	伏	舞	漢字	初出学年	指導箇所
2 1	3 1	3 1	2 1	3 1	3 1	2 1	2 1	2 1	2 1	3 1	2 1	2 1	24 光28 光	初出学年	指導箇所
	3 42	2 219	2 291	2 82	2 285	2 126	3 125	3 113	2 35	2 43	2 197	2 31	学年 ページ	指導箇所	段・行
	下 12	脚 注	上 16	注	3 段目	下 16	中 2	1	4 段目	脚 注	1	リ ード			
(曖昧)	撲滅	紡績機	忙しい	砲火	泡盛	芳名	普遍的	蔑む	完璧	払う	倒れ伏す	舞う	用例		

漏	廉	齡	獵	慢	奔	撲	紡	砲	峰	泡	沸	払	腐	符	斑	漠	漢字	初出学年	指導箇所
3 1	3 2	3 2	3 1	3 1	3 2	3 1	3 1	3 1	3 2	3 1	3 2	3 1	3 1	3 1	3 1	3 1	24 光28 光	初出学年	指導箇所
3 88		3 93	3 165	3 22		3 42			3 156	3 70		3 23	3 112			3 86	学年 ページ	指導箇所	段・行
上 8		上 9	上 14	1		下 12			上 5	4		20	14			9			
漏れる	(廉価)	年齢	獵銃	傲慢	(東奔西走)	撲滅	(紡績機)	(砲弾)	最高峰	泡		売り払う	豆腐	(符号)	(斑点)	漠然	用例		

鼓	誇	弧	玄	圈	傑	勲	偶	漢字	初出学年	指導箇所
3 1	3 2	3 2	3 2	3 2	3 2	3 2	3 2	24 光28 光	初出学年	指導箇所
3 267	3 124		3 186	3 247	3 125		3 119	学年 ページ	指導箇所	段・行
3 段目	上 12		上 9	上 2	上 8		7			
太鼓	誇る	(円弧)	玄関	北極圈	傑作	(殊勲)	偶像崇拜	用例		

腕	漏	露	麗	励	獵	抑	踊	揚	悠	網	慢	漢字	初出学年	指導箇所
2 1	3 1	2 1	2 1	2 1	3 1	2 1	2 1	2 1	2 1	2 1	3 1	24 光28 光	初出学年	指導箇所
2 98	2 30	2 118	2 40	2 182	3 165	2 275	2 58	2 94	2 147	2 183		学年 ページ	指導箇所	段・行
17	リ ード	7	上 17	下 1	上 14	上 21	下 6	16	5	下 7	下 2			
腕組み	聞き漏らす	露出	美辞麗句	激励	獵銃	抑えつける	踊る	かき揚げ	悠然	鉄条網	我慢	用例		